



# サロンあべの

襦袢着て孫と餅食うおらが春 一茶

## 〈サロン・あべの〉1月の出会い

平成17年1月15日(土)、〈サロン・あべの〉1月の出会いは、予定していたお客様のご都合が悪くなり、欠席されましたので、急遽内容を変更して、参加の皆さんに年末年始をどのように過ごされたか、また今年の抱負など、自由にお話していただきました(写真Ⅱ次頁)。

★神社に初詣に行ったのですが、すごい人出で怖いくらいでした。外出したのはこの日だけで、後は兄の家でゆっくりしていました。

の物だけを補助程度に作り、既製の物をメインにするようになり、だんだん簡単になってきました。

正月の子供に成って見たきかな

★年末は、大阪国際女子マラソンのテーマソングでおなじみのアルフィーのコンサートに行き、オールスタンディングで大いに盛り上がり、楽しんできました。年始は外出せず、テレビでラグビー観戦を楽しみました。

★神戸に引越しをして初めて迎える年末年始でした。暮れにはルミナリエを見物。撮影禁止の所でもお構いなしに、ギョウサン写真を撮ってきました。正月は長田神社やモザイクに行ったり、姪や甥とにぎやかに過ごしました。

一茶

★家に居て、孫の世話をしたり、年賀状を読んだり、のんびり過ごしました。お節料理も昔のように、全部が全部自家製で作るのではなく、家庭のこだわり

霞む日も寝正月かよ山の家

一茶

★暮れに、活きのいい魚を買ってきて、お節のお重を作ったり、親類に芋なますを作っても

さて、皆さんのおらが春は...

★暮れに、活きのいい魚を買ってきて、お節のお重を作ったり、親類に芋なますを作っても

らったりしました。

★両親もいっしょに家族で、

妻の実家のタイ・チェンマイで  
新年を迎えました。タイの温泉  
やテーマパークなどを巡って、

遊びを満喫してき  
ました。チェンマ  
イは今回の地震や  
津波の影響はほと  
んどなく、幸いで  
した。

した。今年は介護福祉士の資格  
取得に猛進します。

★年々始は、実家と自分の  
住まいを往復していました。昨  
年、義姉に孫が誕生したので  
が、この赤ちゃんがいるだけ  
で、周りは自然と明るく、心  
和みます。

★正月は寝ていました。した  
ことといえば、初詣に行っ  
ておみくじを引いたことぐ  
らいです。ちなみに、中吉と  
大吉でした。

変でした。最近になってよう  
やく気分的に落ち着き、普  
段の生活に戻りつつあると  
ころですが、寂しさを乗り  
越えるにはまだまだだか  
りそうです。

★とにかく忙しか  
ったです。親戚の子ども  
にお年玉を。お正月に限  
ったことではないですが、  
子どももって、

★去年は苦しい年でした。  
職業訓練を受けているので  
すが、就職を考えると現実  
はとんでもないようです。  
いろいろな人たちと共に  
粘り強くやっていきた  
いと思っています。

悪いにもかかわらず参加  
くださった方には、内容  
変更で申し訳ありません  
でした。当初予定して  
いました、お客さまには  
後日改めてお越しいただ  
けるとお思いますので、  
しばらくお待ちください。

★年末年始予定  
ありません。と言  
いいたばかり

★父親が暮れに亡くなり、大

とこで今日の出会いは、皆  
さんからそれぞれの年末  
年始やいろいろなお話  
が聞き出されて、楽し  
く過ごせました。今年  
も皆さんからパワーを  
もらって、元気に過  
ごせればと思った  
(サロン・あべの)1  
月の出会いでした。

★父親が暮れに亡くなり、大

きつちり仕事で

(参加者13名、山村貴司)



お知らせ

<サロン・あべの>3月の出会い

内容…快適な生活を送るために  
～ユニバーサルデザインについて～

お客さま…池内沙織さん

(「池内沙織の手沙織工房」主宰)

日時…3月19日(土)午後1時～4時

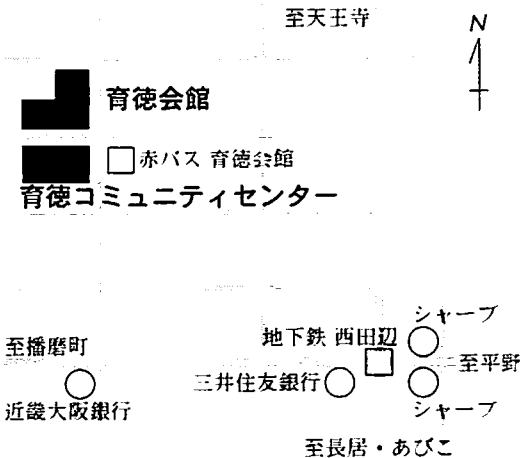
場所…育徳コミュニティセンター2階  
研修室(スロープ・車いすトイレ有)  
大阪市阿倍野区阪南町5-15-28  
TEL 06-6621-1901  
最寄り駅=

地下鉄御堂筋線「西田辺」  
赤バス「育徳会館」下車すぐ

会費…なし

問い合わせ先…

TEL 06-6691-1028 (富田慶子)



ポポルの一座のライブです  
コント? ひとり芝居? 腹話術!

ポポルの一座のライブは、新鮮なコントと、コクのあるひとり芝居、それを腹話術でじっくり煮込みました。

そして、ナンセンスとパーソスを加え、シュールに仕上げました。

ぜひ、お楽しみください!



日時:平成17年3月12日(土)

昼・午後2時開演、1時30分開場

夜・午後7時開演、6時30分開場

会場:トリイホール

大阪市中央区千日前1-7-11

上方ビル4階

チケット:前売・2000円

当日・2300円

.....

お問合せ:ポポルの一座/ポポル伊佐

TEL・FAX 072-279-0792

携帯電話 090-1447-8012

Eメール

poporu-isa@par.odn.ne.jp



13



# 邦子、 …ん歳の手習い。

神様からのたった1度の人生

今回は故定藤丈弘が、1981年に宝塚教会の子供たちに話した内容をご紹介したいと思います。

美しい詩集を出されている障害者の星野富弘さんのことを取り上げた話ですが、夫にとっても、それは障害者として新たに生きていく起点になったのではないかと思えます。

「僕は5年前に交通事故にあいました。それで首の骨を折って、その中の脊髄という神経が傷ついてしまいました。脳から背中首にかけて、大切な神経が流れているわけが

が、脊髄に傷がつくと体が麻痺してしまいます。つまり運動神経が働かなくなってしまうのです。みんなが歩く時、なんとなく歩いているように見えますが、実際は脳から『右足、歩け』という命令を受けて右足が動くのです。ところが僕の場合、その命令が首のところまで止まってしまったのです。今僕は、頭では一生懸命足を動かす、のばそうと頑張っているわけですが、命令が届かないから足が動かないのです。僕の場合、『指を曲げろ!』といっても、ここまでしか命令が届かないから、鉛筆をしっかりと握ることはできないし、箸を持つこともできないのです。けれども、お手本通り書くのは少し不自由ですが、手首がきいていますから、手首にゴムをつけて、力を入れて字を書くことができます。

首の骨は7本あります。僕の場合は上の方の6番目の骨が折れたのですが、もつと下の方、例えば4番目の骨を折ると、腕が上がりなくなるのです。ある一人の中学校の先生がいました。その先生は、跳び箱を跳ぼうと、中学生の前で『今から僕がやるからみておけ!』といってポーンと跳び箱をして1回転したんです。ところが足をすべらせてしま

ありがとう。  
20年

<サロン・あべの>は20年になります。

い、1回転して首の骨を折ってしまいました。さっき言った4番目の骨を折ってしまったわけです。それで手も全然動かなくなりました。はえが飛んできてはもう事も出来なくて、先生は『このはえやろう』と言いなから目をぎよろぎよろさせるのですが、はえは飛んでいきません。『はえさえも僕をバカにするのか。死んだ方がましだ』と先生は、初めの2年間やけになってしまいました。

けれどもそこへ中学の教え子がやってきて『先生、そんなことで絶望しちゃダメですよ。先生がんばってください。私たちがみんな先

生を応援しています』と言ってくれたので。先生は『たった1度の神様が与えてくれた人生だから頑張っていかなければならない』と思って、手が動かないのに絵を描き出したのです。足も動かないので、口で絵筆をくわえて描くのです。しかし、最初は、全然思うように描けません。丸一つ書けなくて四角になったり、四角を書こうと思うと三角になったりで、やけになってしまいました。しかし、『これではいけない』と思い頑張つて、今では口だけできれいな花の粉一つまで描けるようになりました。それまで飛んでいるはえを見ても『何も出来ない』といわれているように。はえがうらやましい』と言っていた先生が、今では『はえも自然に生きているのだから、一緒に頑張ろう』という気持ちになったのです。

だから、どんな重い障害を持っていても神様から与えられた、たった1度の人生ですから工夫をすれば、どんな事だつてできる可能性をもっていると思います。一緒になって頑張つていきましよう。』

(定藤丈弘「神様からのたった1度の人生」1981

年12月6日、宝塚教会にて)

(定藤邦子)

近頃「先生らしくない人」や「親らしくない人」など「・・・らしくない人」が増えているそうだ。そんな中でも特に「男らしくない人」や「女らしくない人」が目立つという。

そう言えば街中を歩いていて「あの人は男だろうか、女だろうか」と首を傾げたくなるような人によく出会うことがある。この時は外見で判断しようと思うからだが、本来の「男は男らしく、女は女らしく」とは一体何を指して言うのだろうか。人それぞれに思っていることは違おうだろうが、私は一言でいえば「男は度胸、女は愛嬌」だと思う。こんな言い方をすれば「時代おくれ」とか「考え方が古くさい」と一笑に付されるかも知れないが、この「男は度胸、女は愛嬌」という言葉は、男と女の基本的な違いを

端的に物語っていると思うからである。

私の友人のA君とはかれこれもう20年近くお付き合いをしている。A君は今年ちょうど還暦を迎えるが、最初に出会った

時から彼は度胸と勇気があり、何か問題が起きてもすぐに適確な判断をして解決するのである。その様子を見ていてこちらまですっきりとした気分になり、A君こそが「男の中の男」、「男らしいなあ」といつも感心する。そしてまた知人女性のK子さんにいつ出会っても目元がやさしくてス

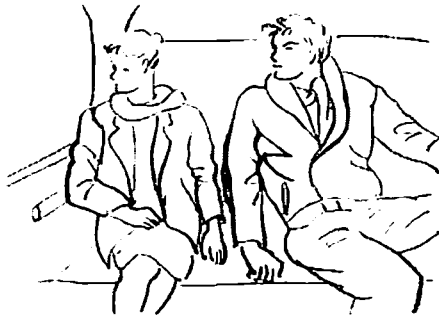
テキな笑顔をしている。彼女は正に「女性らしい女性」である。

いずれにしてもこの私がもっと「男らしく」「人間らしく」ならなければいけないと思っている。

## 晴れのち晴れ 77

「・・・らしく」

稲垣恵雄



## 職業の貴賤



アメリカで買った今年の日めくりカレンダーに次のような「名言」があった。「私の父はこう言った。『モップを持った男が、君の求めている答を知っているかもしれない。』」

ただし君が傲慢になっているなら、彼が言っていることも聞き逃してしまうだろう』  
「モップを持った男」というのは清掃に携わる人である。ただ、これは実際に清掃にあたる人という意味しているのではなく、たっている人を意味しているのではなく、「モップを持つ」ことで社会階層が低いことを象徴させているわけである。

この「名言」に私がやや不快感を覚えるのは、おそらく「職業に貴賤なし」という価値観を幼いころから植え付けられているからだろうと思う。しかし、このアメリカでは、そういう価値観は薄いように感じる。

アメリカという国は差別に敏感である。人種差別には大きな注意が払われているし、障害者差別、男女差別についても同様である。しかし職業「差別」は基本的に容認されているように思う。

それはアメリカ人の考え方からすれば当然のことなのかもしれない。つまり人種や性別は選べない。障害の有無も選べない。選べない

いことで人を差別するのは倫理的に問題がある。しかし、職業には選択の自由がある。社会的にどんなに評価の高い職業でも、誰にでも道は開かれている。その職業に就けないのは本人の責任だ。だから結果的に差別されても仕方ないというわけだろうか。

たとえば、ある新聞にこんな記事があった。ある人種の団体がアメリカのテレビドラマに抗議をしていた。その理由は、ドラマの中で、その人種の登場人物はスーパーのレジをしていることが多いというものであった。「われわれの仲間はずと高度な専門職に就いている。このような番組はわれわれへの社会的偏見を助長する」と言うのである。スーパーのレジを担当することが、それほど恥ずかしいことなのか。日本では考えにくいことだと思う。

アメリカにはチップという制度がある。レストランに入れば、ウェイターやウェイトレスにチップを払わなければならない。新聞配達員にもチップを払うことが普通らしい。新聞社のホームページには、早朝に新聞を配る人にチップを払う方法まで書かれている。

## 向こう三軒両隣

地域福祉のありようはどんな所から考えていけるかと、あるグループで話し合う機会がありました。その時いろいろな言葉が出たのですがその中で「向こう三軒両隣」と言う言葉が複数でました。高齢者の助け合いや子どもの見守りを地域でしていくにしても、近隣の人を知らなければ出来ないということでした。そこでせめて「向こう三軒両隣」だけでも顔見知りなら、何か災害があった時にもすぐに声かけが出来るのではないかということでした。以前は、隣の隣は…とずーとつながっていたように思います。隣近所の人たちは、気軽に家々を行き来していました。が、最近は無用心ということに鍵を掛けてちょっとした声かけも出来にくくなりましたし、世代交代が進み会う時間帯もずれてきたように思われます。そのような中で住んでいる場所を中心にすることも大切ですが、範囲を広げてもある程度距離があってもお互いに分かりあい声掛け合える仲間作りがより必要なのではないかと思われました。サロン活動もその意味では、地域の人たちとの出会いを芯にしてその月のテーマで交流を図りたいという想いがあります。サロンで点と点の人を線で結んでゆけたら本当のネットになり、その目が細かくなってお互いがお互いに支えられるようになればいいなと思いました。(け)

## ……さきみみずきん

なぜ、チップを払わなければいけないのかと、身近なアメリカ人に聞くと「それは、彼らの給料が安いからだよ。チップなしでは生活できないんだから」と、相手を憐れむような調子で言う。これも変な話だ。一生懸命働いても生活できないような賃金しかもらえないのなら、それは社会的な不正だろう。しかし、そういう発想はこちらにはない。

職業の貴賤という発想そのものが日本的なかも知れない。こちらにあるのは、おそらく、金が多く入る仕事か、そうではないかと

いう区別だけである。だから逆に言えば、お金を充分にもらえない仕事か、だからといって「賤しい」と考えられているわけではない。

移民の国であるアメリカは、毎年、数十万人の人が移住してくる。その大部分は貧しい人たちであるという。英語も話せず、教育もほとんど受けていない人たちでも、とにかく低賃金でも働ける場所をこの国は提供してきた。そして、その貧困から脱出できるチャンスを与えてきたのである。

この国の人たちは転々と職を変わる。賃金が低い仕事に就いていても、それは自分の成功物語の最初の一步を踏んでいるにすぎないとも考えられる。アメリカ人の実業家の講演のなかで、数十年前に自分が清掃員として掃除をしていたビルを、自家用の小型ジェット機の窓から眺めたときの「感動」を得々と語るのを聞いたことがある。日本ならば不快に思う人がいるかもしれないが、アメリカ人なら、その話を聞いてきつと鼓舞されるのだろう。(知)

赤松 昭

## 「谷間」に

### 「ごだわり」続けて

9

—どっちつかずの辛さ「軽度障害」—

「重度障害者」という言葉を聞いて違和感を覚える人はそういないと思います。ところが「軽度障害者」という言葉を聞いて、多くの人がイメージするのは障害の程度が軽い人、あるいは障害手帳の等級が5・6級の人、といったことでしょうか。その障害が生活に大きな影響を及ぼさなければ、その方の抱える辛さも軽いだろう—多くの人がこう考えがちです。しかし、この「軽度障害者」も谷間におかれている、と主張する人たちがいます。

田垣正晋さん(教員)は分娩麻痺のため、左手に機能障害があります。分娩麻痺とは出産時、お母さんの産道を通る際に肩や腕に無理な力がかかり、そのため抹消神経を痛めてしまつて生じる機能障害のことです。程度によつては麻痺が回復する場合もありますが、軽微な麻痺を残したまま成長することも少なくありません。田垣さんの場合も一見したところ、特に障害があるようには見えませんが、例えば教壇に立つて話をする田垣さんが、右手に持ったマイクを左手に持ち替える時、田垣さんはマイクを「持つ」のではなく「抱える」ようにして左手全体で支えます。そうしないとマイクを落としてしまふのです。もちろん、普段の生活ではご自身で工夫をされるので、さほど大きな支障はありませんが、両手を使う作業、特に重たい物を扱うことが田垣さんは苦手なのです。

うかまでは見えていません。一見して障害がなければサボっているとみられるのです。また、怒られることがなくても、他の人がテキパキ動く中で所在なげにしていることが何とも辛い、と田垣さんは言うのです。

「力仕事をこなす」ことです。そのため、大掃除等の時は先生や先輩から、「何突つ立てるんだよ! 机運ぶの手伝えよ!」と怒られたことがあつたそうです。車椅子を利用しては障害者にこんなことを言う人はまずいないでしょう。しかし、人は他人の手指に障害があるかどうか

「障害者でもない、かといって健常者でもない、そうしたどっちつかずのつらさを私たちは抱えている」。田垣さんは軽度障害者の抱える生きづらさをこう表現します。2001年10月、田垣さんは仲間と共に、「第1回目軽度障害シンポジウム」を開催しました。会場となつた京都の身体障害者福祉会館には50名を超える人が押し掛け、当事者の語る言葉に心を傾け、そして自らの想いを披露したのです。(続く)

学生の頃、男子に期待される役割のひとつは

●  
ありがとうございます。

カンバ、お菓子・バザー用品・タイグッツ、バザー用品などのご寄贈、またサロングッズのお買い上げ、ありがとうございました。  
M・K、笠原美和子、心の灯、坂井正子、中村久子、平岡太、松谷喜美、松村順子、松本妙子、行沢公子、その他の方々。(敬称略)



# 美智子のこんな話

岸田美智子

## 自立支援給付法 制定へ

前回、このコーナーで書かせていただいた「グランドデザイン案」を具体化するための「障害者自立支援給付法」（仮称）の骨格案が出されました。障害者種別に共通するサービスについて定めるもので、

- ① 総則
- ② 自立支援給付
- ③ 地域生活支援事業
- ④ 事業及び施設
- ⑤ 障害福祉計画
- ⑥ 費用負担
- ⑦ その他

について規定しています。この法案は、2月中旬に国会に提出され、3月に審議、6～7月に可決。来年1月から施行という流れで、進めら

られてしまう事。

② サービス共通の尺度を作り、実質的にヘルパー時間の上限を設ける可能性がある事（1日3～4時間）。

③ 移動介護を個別給付ではなく、事業所に丸投げし国庫補助を削減し、障害者の外出が大きく制限される可能性があります。

④ 障害者の所得保障もままに応益負担を導入し、利用者に大きな負担がかかり、結果としてサービスの利用を抑制せざるを得ない状況に追い込まれてしまいます。施設入所者への負担増になり、手元に残る金額は1万5千円となることにより、社会参加や地域移行に向けた活動は非常に困難になります。

⑤ 都道府県の負担として政令市である大阪市と大阪府が4分の1を負担することになり、これまで大阪市が先進的に行ってきた事業がど

れようとしています。この法案はいくつもの問題をかかえています。

① 支給決定の際に医者等の専門家による「認定審査会」で、決め

のように影響されるのか、大きな不安となりま

す。このような問題の多い法案が、当事者の声を抜きに決定されようとしています。今後も一人でも多くの皆さんと共に反対の行動をねばり強く起こしていきたいものです。

○連絡先

自立生活センター・MY・DO（まいど）  
〒558-0002

大阪市住吉区長居西1-9-12キミハウス1階

TEL 06-6609-3133

FAX 06-6609-3210

## \*好評のエッセイ\*

岡 知史著

知らされない  
愛について

700円

ほんの少しの  
神に近い部分

700円

こんにちは、新年を迎えてあれこれと  
している間に、もう下旬。新春の風のように  
第一便と思っていたのですが、寒風に負け  
ています。

大きな変化もなく体調が維持出来ている事の  
喜びは格別です。

（サロン・あ  
べの）の皆様方  
も積極的に行動  
されている様子  
が、サロン紙か  
らも伝わり来る  
ものがありま  
す。

私の新年は、  
元旦に患者グ  
ループへのメー  
ルから明けました。三つの抱負を胸にし  
て、4日に初詣（混雑のため、ずらす）で  
した。9日には、宵えびすで福を授かると  
共に、日本の文化に触れる。12日は愛知県  
の知多海岸近くの患者さんを訪問相談し



病気なんかしてられません

て、行動の第1歩となりました。

昨年は災害の多い年でもありましたが、  
特に今年は、阪神淡路大震災の10年目。17  
日のこの日は夢千代日記の舞台になった湯  
村温泉からの帰り道、役所や学校では半旗を

掲げて弔意を表していました。

私達の活動「ピアサポー  
ト」も小さいながらも軌道に  
乗りつつあります。

私にはもう一つ叶えてほし  
いものがあります。タイの  
「希望の家」の子供達との再  
会です。26日から31日の日程  
で行く事が決まりました。ご

承知の通り、昨年末のスマト  
ラ沖地震とインド洋大津波は  
未曾有の被害を出し、被災者  
支援や復旧途上にあります。伝染病や感染  
症への心配事がありますが、今はもつぱら  
再訪の準備に費やす日々です。

今回の目的は、再会の約束も有ります  
が、義務教育後の進路と施設の拡張です。

当初は義務教育後の就業としていたのです

が、受入れる社会情勢にはなく高等教育へ  
変更する初年度です。9月が新学期ですの  
で進路の決定をしなくてはなりません。1  
人、年間学費が10万円必要とします。当地  
のNGOの方とも支援の相談です。もう一  
つは、今回の被害から多くの孤児が出てい  
ますが、すでに誘拐事件が出ており、強制  
労働、非行への道、臓器売買と日本では考  
えられない問題があり、こうした事への懇  
談の時間を策定しています。帰国すれば、  
報告談をお知らせします。

サロン紙223号で、岸田美智子さんが  
「ブランドデザイン案」について書かれて  
います。福祉への社会制度が、介護保険制  
度の施行後から破綻状態にあり、05年の今  
年は結論を出す大事な年です。併せて、三  
つの内容について提起されていますが、同  
様の理解です。大いに関心を持って、より社  
会性のある制度を構築して欲しいものです。  
病気なんかしてられません（笑）。ではま  
た。  
（吉岡克彦）



SALOON

■「サロン淀川」3月の出会い

日時：3月20日(日)午後1時30分～4時

内容：中国天津市での思い出  
ネパールに引き続き今回は、中国天津市の思い出を写真と共にアジアティーを飲みながら語っていただきます。

ゲスト：山口豊子氏(日本語教師時代に街の様子や生活を撮り続けた写真と語り)

会費：なし

場所：淀川区在宅サービスセンター「やすらぎ」  
大阪市淀川区三国本町2-14-3

問い合わせ先：淀川区社協(ボランティア・ビューロー) ☎06-6394-2900  
E-mail: sorajii@iris.eonet.ne.jp

■「サロン・にし」3月の出会い

日時：3月12日(土)午後1時30分～4時

内容：みんなで、英会話を楽しもう!

場所：西区在宅サービスセンター6階

ボランティア・ビューロー室  
大阪市西区新町4-5-14 (西区役所隣)  
地下鉄=西長堀駅4-A号出口からすぐ

市バス=地下鉄西長堀駅からすぐ

☎06-6539-8075

会費：なし

問い合わせ先：関口 ☎090-4281-5641

■「サロン・にしよど」3月の出会い

日時：3月26日(土)13:30～15:30

タイトル：「ホームレス」として、ホームレスという人たちと出会う

語り手：中本勝也氏(神戸大学大学院生)

場所：西淀川区在宅サービスセンター

「ふくふく」大阪市西淀川区千舟2-7-7

☎06-6478-2941

会費：参加費無料

問い合わせ先：中本勝也

☎090-9864-9678

■「ウイズ東淀川」3月の出会い

日時：3月13日(日)午後1時30分～4時

内容：「ウイズ東淀川」創立を振り返って

パネラー：岡井淳治氏

会費：なし

場所：東淀川区民会館4階・会議室

問い合わせ先：鈴木昭二

☎・FAX 06-6340-3082

■「サロン・いたみ」、■「サロン・ひらの」は3月の出会いはお休みです。

サロンの一筆箋

1冊100枚綴 ¥150

声で読書のお手伝い

音訳テープのご案内

音訳グループ「糸でんわ」のご協力で<サロン・あべの>紙第223号の音訳テープが出来ました。

■音訳テープ文庫

- (a) <サロン・あべの>紙は、第1号より第223号までそろっています。
- (b) <サロン・あべの>十周年記念誌「はあとが、はろー！」
- (c) 絵本「未知の記憶」(作・絵 中川勝彦)
- (d) 「ラジオたんぱ」放送「<サロン・あべの>平成7年5月の出会い」放送分(30分)
- (e) エッセー集「逃げた『ヨナ』～ボランティア活動の周辺～」(岡本栄一著=糸でんわ音訳)
- (f) 「キミたちだけじゃ困るんだ～身障者だけで旅した十余年～」(山田誠1995・2・22著=糸でんわ音訳)
- (g) 「金子みすずへの旅」(島田陽子著=糸でんわ音訳)
- (h) 「夕やけ空のオニヤンマ」(牧口一二著=糸でんわ音訳)
- (i) 「ガベちゃん先生の自立宣言」(曾我部教子著=糸でんわ音訳)
- (j) 「セルフヘルプグループ」(岡知史著=糸で

んわ音訳)

- (k) 「名物 天王寺かぶら」(猿田博創作 難波利三監修=大阪市立天王寺図書館制作)
- (l) 「知らされない愛について」(岡知史著=ほけつと音訳)
- (m) 「愛 ひとり旅」(奥田真祐美著=糸でんわ音訳)
- (n) 「奥田真祐美のシャンソン手帳」(奥田真祐美著=糸でんわ音訳)
- (o) 「もうちょっと知っとく? 私たちの阿倍野」(難波りんご著=糸でんわ音訳)
- (p) 「猫とシャンソン」(奥田真祐美著=糸でんわ音訳)
- (q) 「ほんの少しの神に近い部分」(岡知史著=糸でんわ音訳)
- (r) 「勁くしずかに」(河野勝行編・著=糸でんわ音訳)
- (s) 「たまごが ポン!」(稲垣恵雄著=糸でんわ音訳)
- (t) 阿倍野名所旧跡いろはがるた(猿田博=糸でんわ音訳)
- (u) 交わりのなかで ～ホームヘルパー残像～(加藤みどりさんを偲ぶ文章を作る会著=糸でんわ音訳)

ご希望の方には、ダビング、または貸し出しをしますので、富田(☎06・6691・1028)まで。

寄りみち



歳をとってくるとお正月に限らず、普段でも、時の経つのがものすごく早く感じられます。これって脳の中の記憶や本能・情動に関わる海馬<sup>かいば</sup>というところが、情報を記憶するかどうかを決める働きをして、「記憶する」と判断する回数が多いほど時間を長く感じ、少ないほど短く感じるそうです。歳をとると既に経験したことの繰り返しが多く、日常の変化が少なくなるため、新たに記憶することが少なくなり、時間があっという間に過ぎたように感じるんだそうです。(石)

<サロン・あべの>VOL. 224 発行：平成17(2005)年2月19日 定価¥100  
 編集人：<サロン・あべの>運営委員会 表題：中西利香・筆 文中イラスト：石田美禰子  
 事務局：〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>  
 TEL・FAX 06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの 00950-9-26941  
 印刷：セルフ社 〒546-0044 東住吉区北田辺町4-23-2 ミスターDビル2F TEL06-6719-8212  
 本紙はホームページでもお読みいただけます。書庫は、<http://pweb.sophia.ac.jp/~t-oka/salon/>